

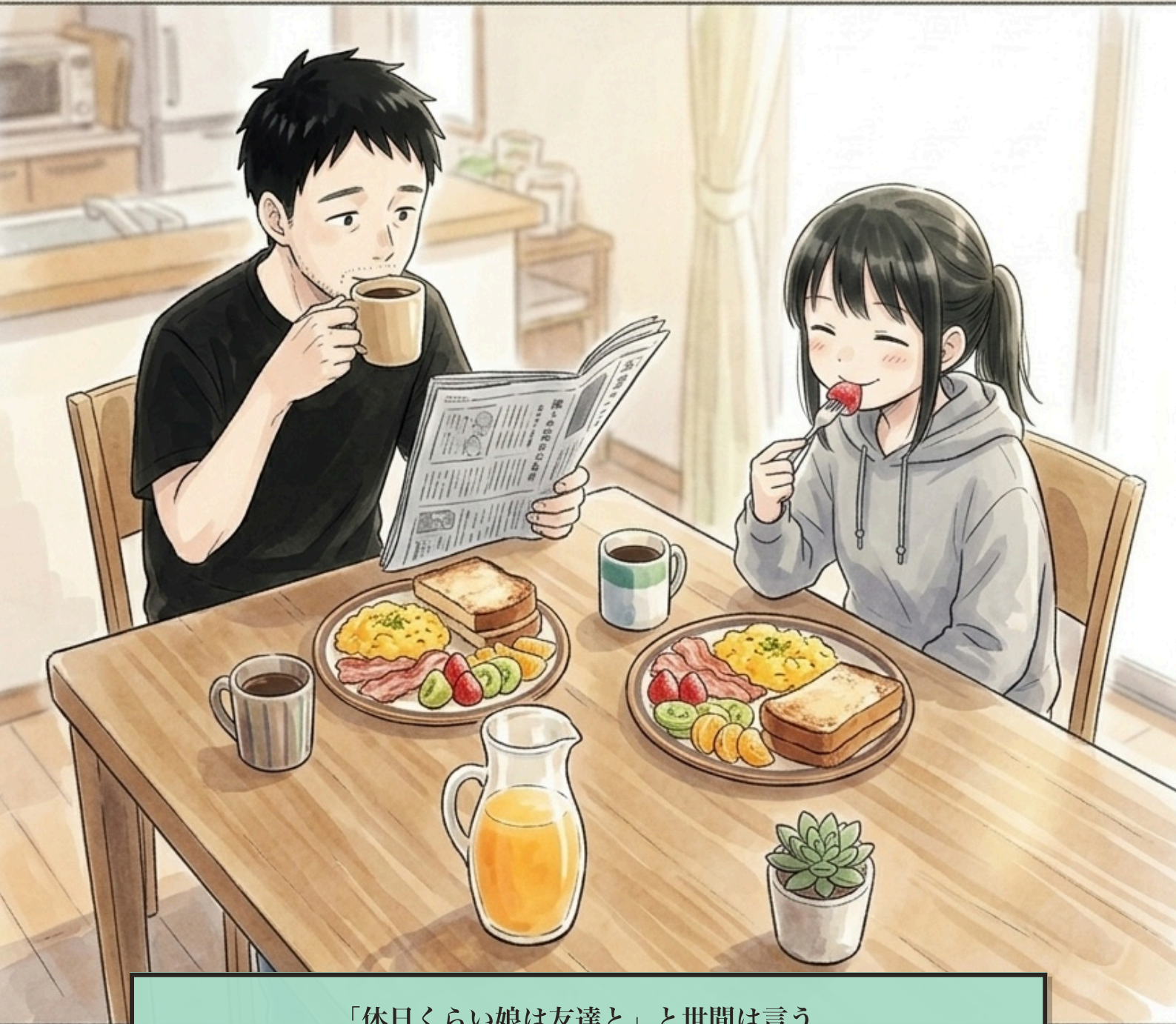
うちの娘、 実は休みは 2人で過ごす

vol.03の続編・休日の『実は』集

FREE・vol.04



実は2人でランチに行く



「休日くらい娘は友達と」と世間は言う。
うちは、起きるのが遅くなった土曜の昼前、
近所のカフェで2人ぶんを頼むのが定番になっている。

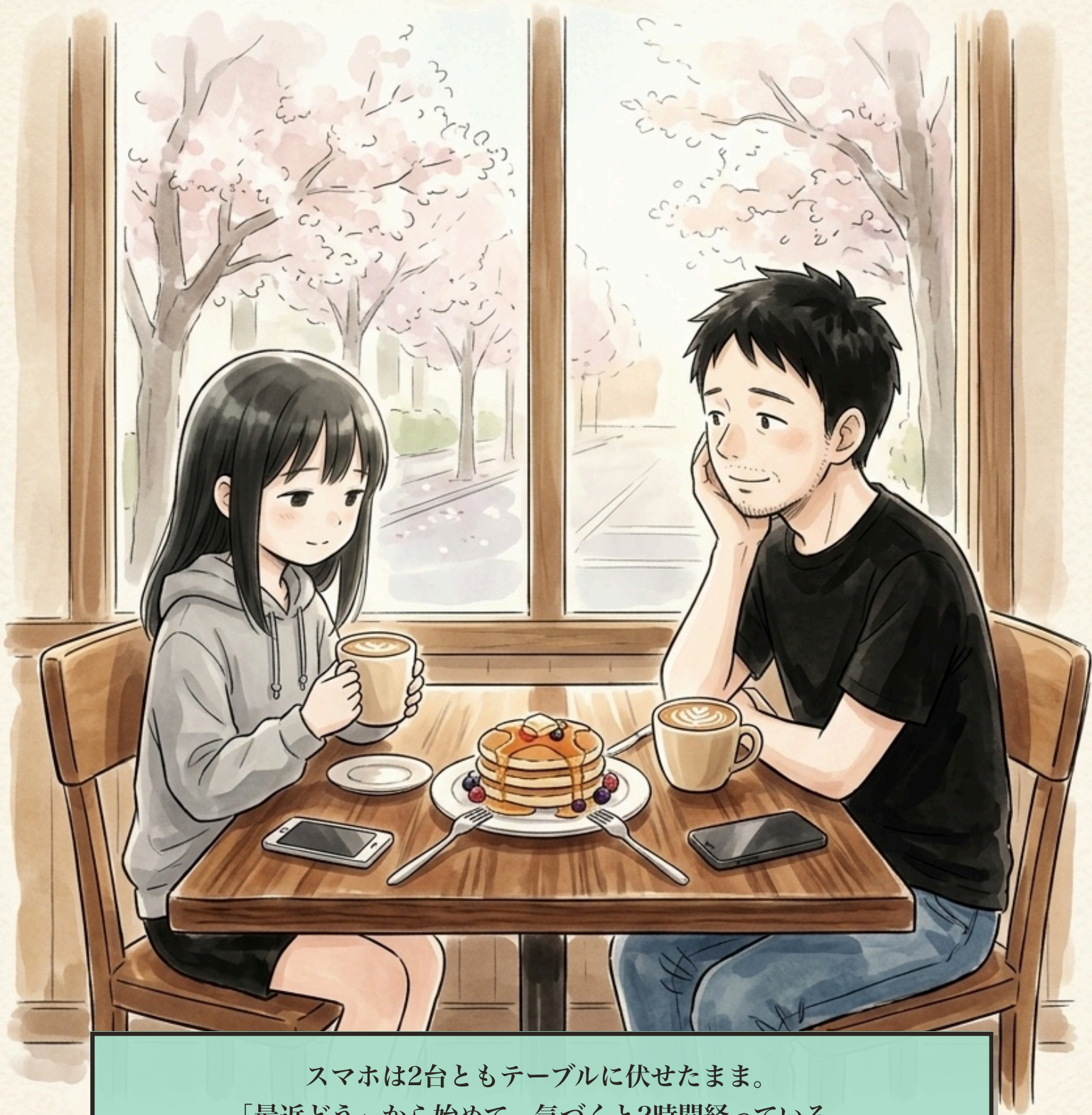


実は2人で買い物に出る

服も、シャンプーも、ノートも。
「自分で選びたい年頃」とは別の話で、
娘は「父にも見せたい」と言って、
父はそれをただ褒める係をやっている。

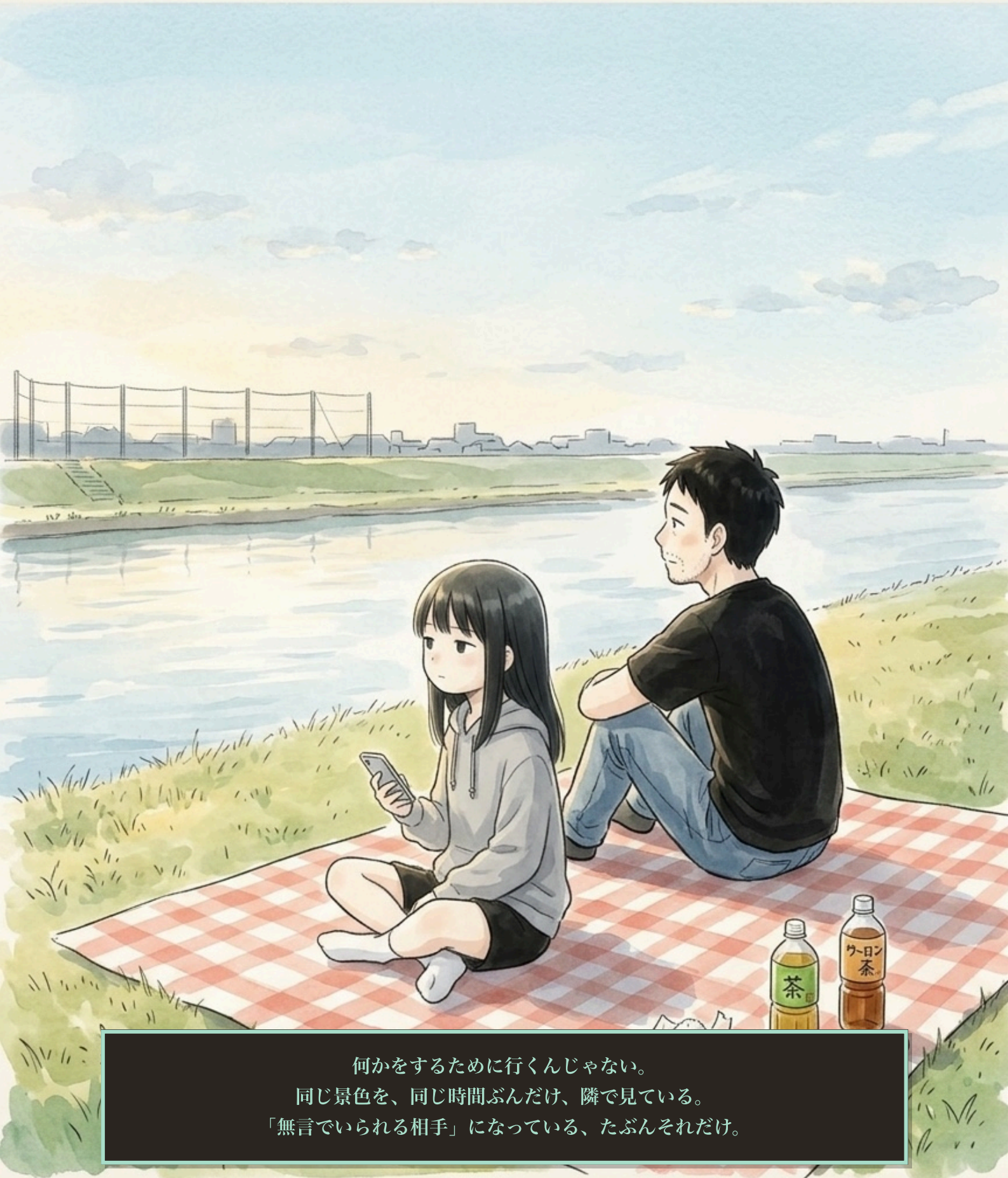


実はカフェで2時間だべる



スマホは2台ともテーブルに伏せたまま。
「最近どう」から始めて、気づくと2時間経っている。
会話の相手として、娘は思春期に父を選んでくれている。

実は河原で何もしない



何かをするために行くんじゃない。
同じ景色を、同じ時間ぶんだけ、隣で見ている。
「無言でいられる相手」になっている、たぶんそれだけ。

実は2人でゲームする



娘の「ぐぬぬ」を引き出す瞬間、
父はちょっと得意気になる。
対戦相手として年齢差が消える、唯一の時間。

実は来年も再来年も2人で過ごす



カレンダーに書き込まれていく丸とハート。
「今年の土日」だけじゃなく、
来年の土日も、たぶん再来年も、ここに書かれる。



うちの娘、
実は休みは
2人で過ごす



vol.05 につづく

